

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	242	4年	前期	看護学科	必修	看護アセスメントⅢ Nursing Assesment III	30	1
担当教員								
看護学科教員								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
○	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
○	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
○	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
地域に暮らす複雑・多様な対象が、地域包括ケアシステムのもと、自助・互助・共助・公助を生かして生活し、療養していけるよう、対象を包括的に理解する。また社会資源創出のための基礎的能力を養い、保健医療福祉を担う多職種及び複数の機関にまたがる連携を学び、それらの中で看護職が果たすべき役割と専門性を理解する。これらの課題に沿い、個々がアクティブに学ぶ計画を立て、主体的に行動できる力を獲得する。								
到達目標（授業目標）								
1 地域包括ケアシステムについて、社会的背景を理解した上で、その概要を説明できる。								
2 地域包括ケアシステムを担う多職種及び複数の機関にまたがる連携を理解し、看護職者としての自己課題を明確化できる。								
3 自己課題を軸に、地域包括ケアシステムの理解を深める総合実習の計画を立案することができる。								
4 立案した総合実習計画を円滑に遂行するための実習施設との調整を行うことができる。								
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）							

1回 2回	地域包括ケアシステムと私：総合実習に向けた自己課題を整理する準備として、身近で具体的なものとして地域包括ケアシステムを捉える。包括的なケアを創出・実践してきた身近な地域の臨床家や住民等とのシンポジウムから、地域包括ケアシステムに関する地域の課題や必要な社会資源の開発について考察する。（看護学科全教員）
3回	地域包括ケアシステムと私3：地域包括ケアシステムの視点から、これまでの実習を振り返る。（看護学科全教員;ゼミ形式）
4回	総合実習で達成すべき自己課題の明確化1：総合実習担当教員からの施設オリエンテーション。配置された実習施設の特徴を踏まえ、担当教員の助言を得ながら自己学習し、自己課題を明確にしていく。（看護学科全教員;ゼミ形式）
5回	総合実習で達成すべき自己課題の明確化2：配置された実習施設の特徴を踏まえ、担当教員の助言を得ながら自己学習し、自己課題を明確にしていく。（看護学科全教員;ゼミ形式）
6回	総合実習の計画立案1：明確化した自己課題を深める学習をしながら、総合実習前・実習中・実習後の行動計画を立案する。（看護学科全教員;ゼミ形式）
7回	総合実習の計画立案2：明確化した自己課題を深める学習をしながら、総合実習前・実習中・実習後の行動計画を立案する。（看護学科全教員;ゼミ形式）
8回	総合実習の計画立案3：明確化した自己課題を深める学習をしながら、総合実習前・実習中・実習後の行動計画を立案する。（看護学科全教員;ゼミ形式）
9回	総合実習施設との調整1：地域包括ケアシステムを軸とした自己課題達成のために立案した行動計画を円滑に遂行するため、総合実習施設との調整を行う。（看護学科全教員;ゼミ形式）
10回	総合実習施設との調整2：地域包括ケアシステムを軸とした自己課題達成のために立案した行動計画を円滑に遂行するため、総合実習施設との調整を行う。（看護学科全教員;ゼミ形式）
11回	総合実習施設との調整3：地域包括ケアシステムを軸とした自己課題達成のために立案した行動計画を円滑に遂行するため、総合実習施設との調整を行う。（看護学科全教員;ゼミ形式）
12回	総合実習施設との調整4：地域包括ケアシステムを軸とした自己課題達成のために立案した行動計画を円滑に遂行するため、総合実習施設との調整を行う。（看護学科全教員;ゼミ形式）
13回	課題達成に向けた知識・技術の確認1：総合実習での課題達成に必要な知識・看護技術の修得状況を確認する。（看護学科全教員;ゼミ形式）
14回	課題達成に向けた知識・技術の確認2：総合実習での課題達成に必要な知識・看護技術を修得状況を確認する。（看護学科全教員;ゼミ形式）
15回	総合実習の計画立案4：行動計画および実習記録用紙、評価表の修正と追加を行う。（看護学科全教員;ゼミ形式）
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	
成績評価方法及び基準	

自己課題の明確化、総合実習に向けての企画立案・調整についての評価、グループ学習への参加態度等を、別に提示する評価表をもとに総合的に評価し、60%以上をもって合格とする。

教科書	随時紹介する
参考図書等	随時紹介する

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

地域包括ケアシステムについて復習し、自己課題の明確化に寄与すると考えられる幅広い探求を行う。既習実習の振り返り等より自己課題の明確化及び計画立案についての思考を深める。

関連科目

前科目		基礎看護学・成人看護学・老年看護学・小児看護学・母性看護学・精神看護学・在宅看護論・地域看護学		看護の統合と発展	166	社会保障制度論（共通）	167	保健医療福祉行政論（共通）		看護アセスメントⅠ・看護アセスメントⅡ
後科目	143	チーム医療（共通）								

実務家教員

看護師（医療機関）	看護学科教員							
保健師（行政機関）	看護学科教員							
保健師（職域保健）	看護学科教員							

備考	総合実習と連動する科目である
----	----------------